

特別展 表千家

三千家のはじまり

# 江岑宗左と 千家茶道の確立

令和4年

10月8日〔土〕

12月18日〔日〕

茶の湯文化にふれる市民講座

特別展の会期中に2回の講座を開催いたします。

ご来館での受講に加え、オンラインでも受講いただけます。

11月3日〔木・祝〕「江岑宗左と紀州徳川家」  
渡辺潤氏（家元教授、表千家同門会理事）

11月27日〔日〕「三千家の成立と江岑宗左」  
熊倉功夫氏（MIHOMUSEUM館長）

◎時間 午後2時～3時30分（講座の受付は正午から）

◎定員 来館受講180人（各回）

オンライン受講 無制限（各回）

◎参加費 来館受講1,500円（1回、入館料別）

オンライン受講2,000円（1回）

\*事前に申込みが必要（来館受講は応募多数の場合は抽選）

家元内弟子による特別展示解説

10月20日〔木〕

◎時間 午前10時～11時30分／午後1時～2時30分の2回

◎定員 来館受講のみ60人（1回）

◎参加費 1,500円（入館料別）

\*事前に申込みが必要（応募多数の場合は抽選）

前 紀州徳川家より江岑拝領

後 江岑書状

「大般若へ御茶室上候節の文」

千宗巴（随流齋）宛



Handwritten calligraphy in various styles, including a large vertical piece on the left and smaller pieces scattered across the background.

## 表千家北山会館

◎休館日 月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館。但し10月24日は開館、10月20日〔木〕は特別展示解説参加の方のみ入館）◎開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）  
◎入館料 一般1,200円／同門会員800円（会員割引）／大学生1,000円／高校生500円／中学生以下無料\*入館料には早茶を含みます。  
〒603-8054 京都市北区上賀茂桜井町61  
電話 075-724-8000  
<https://www.kitayamakaikan.jp>

◎主催 表千家北山会館・京都新聞  
◎後援 京都市・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都市内博物館施設連絡協議会・NHK京都放送局・京都国立博物館  
◎協力 文化庁 地域文化創生本部



令和4年  
10月8日「土」

12月18日「日」

茶の湯文化にふれる市民講座

特別展の会期中に2回の講座を開催いたします。  
ご来館での受講に加え、オンラインでも受講いただけます。

11月3日「木・祝」江岑宗左と紀州徳川家  
渡辺潤氏（家元教授、表千家同門会理事）

11月27日「日」三千家の成立と江岑宗左  
熊倉功夫氏（MIHOMUSEUM館長）

◎時間 午後2時～3時30分（講座の受付は正午から）  
◎定員 来館受講180人（各回）

オンライン受講 無制限（各回）  
◎参加費 来館受講1,500円（1回、入館料別）

オンライン受講2,000円（1回）  
\*事前に申込みが必要（来館受講は応募多数の場合は抽選）

家元内弟子による特別展示解説  
10月20日「木」

◎時間 午前10時～11時30分／午後1時～2時30分の2回

◎定員 来館受講のみ60人（1回）

◎参加費 1,500円（入館料別）

\*事前に申込みが必要（応募多数の場合は抽選）

特別展 表千家

三千家のはじまり

# 江岑宗左 と 千家茶道 の確立



◎休館日 月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館。但し10月24日は開館、10月20日「木」は特別展示解説参加の方のみ入館）◎開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）  
◎入館料 一般1,200円／同門会員800円（会員割引）／大学生1,000円／高校生500円／中学生以下無料 \*入館料には早茶を含みます。

表千家北山会館

▼JR「京都駅」より地下鉄烏丸線国際会館行「北山駅」下車、4番出口を西へ徒歩約5分▼阪急電車「烏丸駅」より地下鉄烏丸線乗り換え「北山駅」下車▼京阪電車「三条駅」より地下鉄東西線乗り換え「烏丸御池駅」乗り継ぎ「北山駅」下車  
〒603-8054 京都市北区上賀茂桜井町61  
電話 075-724-8000  
<https://www.kitayamakakan.jp>



◎主催 表千家北山会館・京都新聞  
◎後援 京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都市内博物館施設連絡協議会・NHK京都放送局・京都国立博物館  
◎協力 文化庁地域文化創生本部



前 紀州徳川家より江岑拝領 ノンコウ作 御紋茶碗  
後 江岑書状「大殿様へ御茶差上候節の文」千三巴（随流斎）宛